

あおもり市議会だより

ぎかいの森

平成31年第1回定例会の内容を
わかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

Vol. 9

令和元年5月

第95回全国高校サッカー選手権大会 優勝

百戦百打一瞬の心

青森県サッカーリーグ2016チャンピオンシップ優勝

特

集

スポーツ指導者

in あおもり

目次

特集	P 2
議決した主な議案	P 4
こんなことを聞きました。	P 5
トピックス	P 16

写真：青森山田高等学校正面左手側の記念碑前にて

特

集

スポーツ指導者

in あおもり

今回の特集記事のテーマは「スポーツ指導者」。第97回全国高校サッカー選手権大会で一昨年に次ぐ2度目の優勝をなし遂げた青森山田高校サッカー部の黒田剛監督が、快くインタビューに応じてくれました。当日は、監督に就任したきっかけや監督としての理念、信条に至るまで、あっという間の有意義な1時間でしたが、今回はその内容をお届けします。



部室にはたくさんの賞状やトロフィーが飾られていました。

【議員】 このたびの第97回全国高校

サッカー選手権、一昨年に次ぐ2度目の優勝おめでとございます。

監督は北海道出身とのことですが、同じく雪の多い青森市にいらっしやっただけは何かおもしろいかなと思っただけです。

【監督】 母校のコーチとしてお手伝いをしていたときに、青森山田高校の前の監督と知り合いになり、たまたまコーチを探していると紹介されたんです。それで、青森ってどんなところだろうと思いがちなところですが、私学で一からサッカーを

やってみるのもおもしろいかなと思っただけです。

【議員】 青森市を選んでということではなく、ひよんなことがきっかけだったんですね。

【監督】 そうそう。最初は手探り状態のスタートで、来たときは24歳でしたから、監督をこんなに早くできるとは思っていませんでした。

【議員】 今回の優勝でJリーグや全国の学校からのオファーもあるかと思いますが、今も青森市に残っていた理由は何ですか。

【監督】 私はもともと教員ですし、教育を通じてサッカーに携わりながら自分自身も成長してきました。先人たちの思いを次世代に引き継ぎたいという責任も感じていますし、「監督、6年間いますよね」と言って入学してくる中学生もいる中で、簡単に「やめます」というわけにはいかないですね。

【議員】 そうですよ。では、冬の降雪はサッカーをする上ではハンディが大きいと思いますが、どのように克服してきたのか教えてください。

【監督】 いや、雪は弊害ではなく、フィジカルやメンタルを鍛えるのにもってこいなんです。ボールを早く蹴りたいという思いを募らせながら冬場に苦しいトレーニングを積むことがみずから奮起させる材料となり、春先に成果としてあらわれるというように生徒たち

くろだごう
黒田剛監督

プロフィール

1970年5月26日北海道生まれ。登別大谷高校(現・北海道大谷室蘭高校)、大阪体育大学でサッカーを続け、大学卒業後、ホテルマンなどを経て1994年に青森山田高校サッカー部コーチ、1995年から同部監督に就任。現在は同校教頭を務める。同部の輝かしい成績は本文のとおりであり、現在、県内の公式戦では346連勝中。自身も2006年に公認S級コーチライセンスの認定を受けるなど、日々、精力的な活動を行っている。



青森山田高校サッカー一部部室にて

の意識を変え、実践してきました。

【議員】 続いて、監督が選手を育成するに当たったっての理念や信条をお聞きしたいです。

【監督】 やはり教育者という前提に立ち、心技体のベースづくりが大事だと考えています。サッカーのスキルは二の次で、結局は日々の鍛錬の積み重ねが強いチームづくりに結びつくのだと思います。

【議員】 「栄光に近道なし」ですね。では、監督は柴崎選手のような将来の一流選手をどのように見抜いているのですか。

【監督】 柴崎選手は判断の早さが天才でした。選手の性格などはすぐにはわからないので何とも言えませんが、その子の将来を伸ばすには、目の前に見えることだけではなく家族構成、性格など、本質を見ていかないと難しいですね。

【議員】 それも二十数年の監督生活

の積み重ねですね。ところで、本市は短命市という課題があります

が、解決のためのお考えなどがありましたらぜひ。

【監督】 例えばですが、市にプロスポーツや芸術等の催しができる魅力的な施設ができれば、体を動かすことが楽しいと思える習慣が市民に根づいていくものと思いますし、ひいては市民の食習慣や健康づくりに対する意識等も変わっていくのではないかと思います。

【議員】 最後に、議員に対する思いなどがありましたらお願いします。

【監督】 議員は影響力のある立場なので、活動の成果がもっと市民に見えるようになればよいと思います。反対があったとしても物事がどんどん動いている青森市、それを市民は望んでいる気がします。

【議員】 本日は貴重なお話を、本当にありがとうございました。

青森市議会で

議決した主な議案です。

●平成31年第1回定例会

会期30日間 2月21日～3月22日

●第1回定例会で可決等した

議案・請願等

市長提出議案97件中……………97件

(可決94件、同意3件)

議員提出議案10件中……………5件

(可決)

諮問5件中……………5件

(棄却すべきと答申)

請願4件中……………2件

(継続審査)

■以上の中から主なものをお知らせいたします。なお、全ての議案名と結果は、市議会ホームページでごらんいただくか、議会事務局へお問い合わせください。

その1

平成31年度当初予算を
可決しました

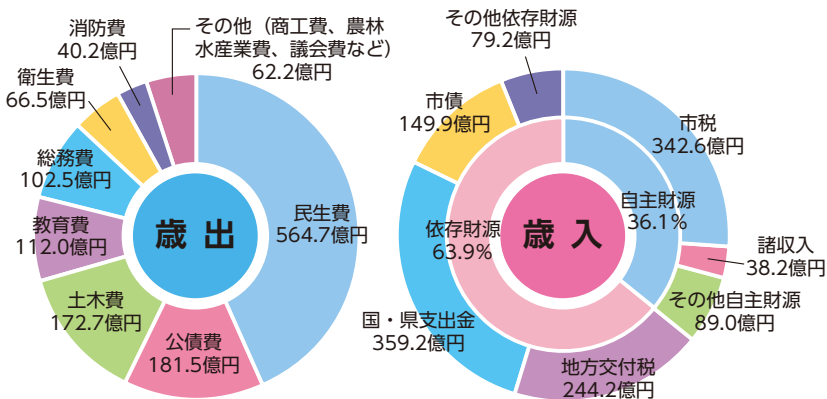
今期定例会では平成31年度当初予算案が提案され、開会日に市長から同案について、平成31年度は改元初年度の節目の年であり、青森市総合計画という海図を手に出港する「市政発展へ挑戦する予算」と位置づけること、また、同案に計上された(仮称)青森市母子健康包括支援センターの整備や青森市アリーナプロジェクト等、主要な事業の概要について説明がなされました。また、閉会日には国の交付金の内定に伴う一般会計の補正予算案が提案されました。市議会では、一般会計、財産区を除く特別会計及び企業会計合わせて総額2千471億4千392万3千円に上る同案(概要は以下のとおり)及び当該補正予算案について、閉会日に採決を行い、一部予算案について起立採決を行った結果、全て原案のとおり可決しました。

平成31年度特別会計・企業会計予算額

会計名	予算額	対前年度増減
競輪	149.3億円	△25.6億円
国民健康保険	286.3億円	4.0億円
宅地造成	2.5億円	△10.2億円
下水道	115.7億円	△1.3億円
卸売市場	9.8億円	1.7億円
農業集落排水	4億円	0.1億円
介護保険	289.9億円	7.4億円
母子父子寡婦福祉資金貸付金	0.7億円	△0.5億円
後期高齢者医療	32億円	0.7億円
駐車場	3.4億円	0.0億円
合計	893.6億円	△23.7億円
病院	147.9億円	1.9億円
水道	96.5億円	2.0億円
自動車運送	31.1億円	0.1億円
合計	275.5億円	4.0億円

平成31年度青森市一般会計予算額

1302億3400万円
(対前年度：+約74億8800万円)



その2

消費税の引き上げに伴う施設
使用料等の改定が行われます

●消費税及び地方消費税の税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

今期定例会では、2019年10月1日での消費税の10%引き上げに伴い、市内の体育施設や文化施設等の使用料等を、原則として現在の使用料等に108分の110を乗じた額に改定するための同条例案が提案されました。

市議会では同条例案について、起立採決の結果、賛成多数で可決しました。

その3

契約及び協定の締結に係る
議案を可決しました

今期定例会では、条例により議会の議決が必要な契約議案として、平成30年4月4日に発生した火災で焼損した青森市清掃工場破砕選別処理施設の復旧工事に係る契約

及び青森駅自由通路整備等に関する工事に係る協定が提案され、市議会では両案についてそれぞれ全会一致・賛成多数で可決しました。

青森市清掃工場破砕選別処理施設
復旧工事

契約金額

10億3千680万円

青森駅自由通路整備等
に関する工事

協定金額

17億7千997万2千円



青森駅自由通路の鳥瞰図(イメージ)

質問・質疑

こんなことを聞きました。

第1回定例会において行われた、一般質問、予算特別委員会の質疑の中から、一議員につき一項目の質問・質疑及び答弁の要旨を掲載しています。

●質問・質疑を行った議員・委員数

●第1回定例会

一般質問

24名

予算特別委員会

22名

防災



SNSを活用した
防災情報の発信について

無所属

山崎

翔一

Q

スマートフォンの普及により、災害時等においてはSNSを利用したりリアルタイムな情報への需要が高まっていると思いますが、SNSを活用した防災情報の発信について、市の現状をお示しください。

A

市では、災害発生時または災害のおそれがある場合において、気象情報や避難指示等の防災情報を市民の皆様が発信することとしており、市ホームページや広報車等のほか、ツイッター等のSNSも活用しています。今後もさまざまな媒体を活用し、災害時等の情報伝達の多重化を進めてまいります。

青色は、総務企画常任委員会に関連する質問・質疑です。

防犯

青森駅西口駅前広場への防犯カメラの設置については、施設管理上の観点から、必要性も含めて検討したいと考えています。一方、青森駅西口大通り商店街の通りについては、商店街から相談があった際には県の「防犯カメラ」の設置及び運用に関するガイドラインを活用し、警察と連携し対応することとしています。現段階では設置する考えはありません。



青森駅西口への防犯カメラの設置について

公明党
渡部 伸広

Q 青森駅西口駅前広場と青森駅西口大通り商店街の通りへの防犯カメラの設置について、市の考えをお示しく下さい。

A 青森駅西口駅前広場への防犯カメラの設置については、施設管理上の観点から、必要性も含めて検討したいと考えています。一方、青森駅西口大通り商店街の通りについては、商店街から相談があった際には県の「防犯カメラ」の設置及び運用に関するガイドラインを活用し、警察と連携し対応することとしています。現段階では設置する考えはありません。

広域連携

本事業は、青函ツインの日と定めている11月11日前後に記念式典の開催を予定しており、このほか日程は未定ですが、青函子ども絵画展、(仮称)青函アート交流事業、(仮称)青函3×3交流事業、青函マルシェ開催事業、青函まつり交流事業、青函ビジネスアイデアコンテストの計7事業の開催を予定しています。



青函ツインシティ提携30周年記念事業について

市民クラブ
竹山 美虎

Q 青函ツインシティは、平成31年3月13日で提携から30年を迎えますが、2019年度、本市で開催予定の記念式典の開催時期と記念事業の内容についてお示しく下さい。

A 本事業は、青函ツインの日と定めている11月11日前後に記念式典の開催を予定しており、このほか日程は未定ですが、青函子ども絵画展、(仮称)青函アート交流事業、(仮称)青函3×3交流事業、青函マルシェ開催事業、青函まつり交流事業、青函ビジネスアイデアコンテストの計7事業の開催を予定しています。

予算決算

新年度予算案では、新規事業は24件で、事業費総額は47億8千523万2千円となっています。主な新規事業には、空き店舗等を活用した新たなビジネスの創出等を図るリノベーションまちづくり推進事業、操車場跡地の活用を進める青森操車場跡地周辺整備推進事業、新町一丁目地区等の市街地再開発支援等があり、新たな取り組みへのチャレンジと財政健全化の実現を両立した予算案としています。



平成31年度当初予算における新規事業について

市民クラブ
秋村 光男

Q 平成31年度当初予算案における新規事業の件数、事業費の総額及び主な事業の内容をお示しく下さい。

A 新年度予算案では、新規事業は24件で、事業費総額は47億8千523万2千円となっています。主な新規事業には、空き店舗等を活用した新たなビジネスの創出等を図るリノベーションまちづくり推進事業、操車場跡地の活用を進める青森操車場跡地周辺整備推進事業、新町一丁目地区等の市街地再開発支援等があり、新たな取り組みへのチャレンジと財政健全化の実現を両立した予算案としています。

税

A 消費税率引き上げについては、全国市長会及び中核市市長会において、「社会保障・税一体改革」の実現に向け、消費税・地方消費税10%への引き上げを確実に行うことなどをそれぞれ決議し、国等へ要請しており、市としてもこの趣旨に賛同し、消費税・地方消費税による必要な財源が確保されるべきであると考えています。



消費税増税について

日本共産党
藤原 浩平

Q 消費税10%増税は、市内の家計消費を冷え込ませ、実質賃金を低下させ、市民生活を破壊するものであり、中止するべきだと考えますが、市の見解をお示しください。

税

A 国民健康保険税の滞納の現状としては、失業、疾病等さまざまな理由があるため、市では納付相談に際し、個々の事情に対応したきめ細かな対応を心がけるとともに、滞納者の実態の把握に努め、必要に応じて税の減免等のアドバイスを行うほか、分割納付の相談にも対応するなど、生活再建にも配慮しながら対応を行っています。



国民健康保険税の納付相談について

日本共産党
山脇 智

Q 市民から国民健康保険税の納付等に関する相談がなされた際、一人の事情に寄り添った対応をすべきと思いますが、市の現在の対応についてお示しください。

消防

A 消防団車両の更新については、使用年数が長い車両、修理に多額の費用を要する車両、老朽化や損傷により機械的な能力が著しく低下した車両を順次更新しており、来年度は新城分団第6班などの小型動力ポンプつき積載車3台を更新する予定としています。今後においても地域防災力の強化のため、関係部局と協議しながら更新を図ってまいりたいと考えています。



老朽化した車両(一例)



消防団車両の更新について

自民・志政会
木戸 喜美男

Q 消防団が保有する車両には30年を経過する車両もあるとのことですが、今後の車両の更新についてお示しください。

市民生活



マイナンバーカードの関係は
駅前庁舎1階4番窓口です。

Q 本市におけるマイナンバーカードの交付件数と、今後のマイナンバーカードの交付促進に向けた取り組みについてお示しください。

A 交付件数は、平成31年2月末現在で、人口比で12・2%、3万4千798件です。マイナンバーカードは、市の児童手当等の手続等に係る電子申請に利用でき、2020年2月からは各種証明書のコンビニ交付サービスが始まるなど、現在さまざまなサービスの拡充が検討されていることから、今後も機を捉え、その普及に向けたPRを実施してまいります。



マイナンバーカードの 交付状況等について

市民の声あおもり

藤田 誠
ふじた まこと

アリーナ プロジェクト



写真は山形県東根市総合保健
福祉施設内の屋内遊びセンター
「けやきホール」

Q 市がアリーナに設ける予定のキッズルームは、県内最大級の面積を有することとなり、多くの方が喜んでいきます。現段階の整備に係る市の考えをお示しください。

A 市では、アリーナ整備の検討に係る中間とりまとめ（案）において、キッズルームの規模を700平方メートル程度とすることにより、季節や天候に左右されず利用できる環境と子どもの発達や育ちを促す遊び場の確保につながるものと考えており、今後、有識者会議等から意見をいただきながら、詳細な機能等について検討してまいります。



アリーナに整備予定の キッズルームについて

無所属

橋本 尚美
はしもと なおみ

農林水産

Q 部分林の中には、荒れ放題で水路等に土砂が流れ込んでいたりもあるため、行政として担う役割もあると思いますが、市が部分林の管理等について契約を締結している部分林組合のうち、解散した組合の数をお示しください。

A 市では昭和30年から昭和43年にかけて、27の部分林組合と約419ヘクタールの分収契約を締結しており、これまで約394ヘクタールの部分林が分収を終え、25組合が解散しています。なお、残りの2組合はそれぞれ2020年度、2027年度の分収を予定しています。



部分林の現状について

市民の声あおもり

奥谷 進
おくや まさゆき

教 育

市教育委員会では、教職員の多忙化の解消と心身の健康維持を図るため、パソコンによる出退勤管理や統合型校務支援システムの導入、各学校への時間外勤務の上限等を示した指針の配付などの取り組みを進めてきています。今後においても運動部活動に係る方針の策定による時間外勤務の縮減を図るなど、教職員の多忙化解消に向け、総合的に取り組んでまいります。



教職員の働き方改革

について

自民・志政会 渋谷 勲

Q 教職員がもっと心に余裕を持ち、より教育活動に専念できるようにするため、市教育委員会が行っている取り組みをお示しく下さい。

A 市教育委員会では、教職員の多忙化の解消と心身の健康維持を図るため、パソコンによる出退勤管理

教 育

市教育委員会では、3校の児童数が年々減少し、うち2校で複式学級を有する状況を鑑み、3校のPTAによる話し合いを重ねてきた結果、2020年4月に3校を統合の上、奥内小学校の学校施設を使用する方向性を地域の皆様に同意いただいたところであります。今後は保護者等から成る準備委員会を組織し、話し合いを重ねながら、統合に向けた取り組みを進めてまいります。



後潟・奥内・西田沢小学校の統合について

自民・志政会 神山 昌則

Q 後潟小学校、奥内小学校、西田沢小学校の統合に至った経過と今後の進め方についてお示しく下さい。

A 市教育委員会では、3校の児童数



統合先となる奥内小学校校舎

教 育

市教育委員会としても、部活動の指導者や保護者が目先の勝利にこだわりすぎることは好ましいことではないと考えており、指導の方法や部活動の意義等について指導しているところです。今後も、現在策定中の運動部活動の方針に基づき、児童・生徒の健全育成等が図られるよう指導してまいります。



小・中学校運動部活動における現状について

市民クラブ 木下 靖

Q 小・中学校の運動部活動において勝利至上主義による行き過ぎた指導がなされ、現場での対応が難しい場合には、市教育委員会による助言、指導も必要になると考えますが、見解をお示しく下さい。

A 市教育委員会としても、部活動の指導者や保護者が目先の勝利にこ



運動部活動を楽しむ生徒たち

教育



小中一貫教育の 導入について

市民クラブ 工藤 健

Q 市教育委員会が新年度から導入を予定している「コミュニティ・スクールの資料には「小・中一貫教育合同研究会」とありますが、将来的には全市的に小中一貫教育を進めることになるのか、市教育委員会の見解をお示しくください。

A 市教育委員会では、このたびのコミュニティ・スクールの導入等により今後一層小・中学校の関係が深まれば、ますます小中連携、小中一貫の取り組みが盛んになり、ひいては全市的な展開となるものと考えていることから、これを支援してまいりたいと考えています。

都市整備



青森操車場跡地 周辺整備事業について

自由民主党 中田 靖人

Q 青森操車場跡地利用計画の策定状況をしてお示しくください。

A 同計画の策定に当たっては、平成25年3月の青森操車場跡地利用画審議会からの答申書の土地利用の方向性を踏まえ、平成30年5月に設置した青森市アリーナプロジェクト有識者会議からの意見を伺いながら検討し、計画案を取りまとめたところです。当該計画案について県に書面で協議したところ、県からはさまざまな意見をいただいたところであり、今後これらの意見を反映させた上で、市として計画を決定したいと考えています。

交通



横内環状線のダイヤの 見直しについて

市民の声あおもり 蛭名 和子

Q 市交通部が本年12月から実施を予定している冬ダイヤについての考え方と、停車するバス停が多く、冬期間に大幅なおくれが生じている横内環状線の遅延解消策についてお示しくください。

A このたびの冬ダイヤについては、冬期間の遅延状況を踏まえ、実態に即した運行時間へ見直すもので、これまでよりも正確な運行時間をお示しできると考えています。横内環状線についても、今後、運行データをもとに遅延の発生原因を分析しながら、適正なダイヤとなるよう検討を進めてまいります。

橙色は、都市建設常任委員会に関連する質問・質疑です。

交通

利用動向をも把握するため、本年12月上旬まで実験運行を継続することとしています。



Q 市交通部が平成30年度に行っているバスの実験運行について、南高校、中央高校を経由する路線については来年度も運行を継続していただきたいと考えますが、市交通部の見解をお示しください。

A 市交通部では、潜在的なバス需要の掘り起こしのため、平成30年10月29日から市内5路線で実験運行を行っており、このうち南高校、中央高校を経由する3路線については冬期間一定の利用があったことから、夏期の



南高校等を経由するバスの実験運行について

自民・志政会 館山 善也
たけやま じゅんや

交通

当該事業は、マイカーから市営バスへの転換の促進等を目的に、運転免許返納者に対し5千円分のバスカードを提供するもので、現在、ネットワーク環境が整っている東部及び西部営業所で受け付けをしているものですが、期待した効果が得られていないなどの理由から、今後については経営状況を踏まえ、改めて判断したいと考えています。

Q 市交通部の運転免許自主返納者支援事業については、市民センター等の窓口でも受け付けできるとよいと考えますが、当該事業の現状及び今後についてお示しください。



運転免許自主返納者支援事業について

自民・志政会 中村 節雄
なかむら せつお

ごみ処理

同施設の復旧費用については10億5千100万2千円であり、おおむね保険で賄われ、保険適用外の費用については市と運営事業者が2分の1ずつ負担することとしています。また、今回の火災を踏まえた主な改善対策として、温度検知器、

Q 平成30年4月4日に火災事故で焼損した青森市清掃工場の破砕選別処理施設の復旧工事について、その費用及び財源と、どのような改善対策を講じるかお示しください。



青森市清掃工場の復旧工事について

市民の声あおもり 中村 美津緒
なかむら みつお



青森市清掃工場(全景)

赤色は、民生環境常任委員会に関連する質問・質疑です。

ごみ処理

A 日本が超高齢社会を迎える中、仙台市では玄関から収集場所までごみを運ぶ活動団体に対して奨励金制度を設けており、市としても、高齢者や障がい者のごみ出しについては課題があることを承知していますことから、今後、他都市の事例等について調査し、情報収集を行ってまいります。

Q 自力でのごみ出しが難しい高齢者や障がい者の負担を減らすため、ごみ出しを手助けする町会や老人クラブ等の団体に奨励金を交付する考えはないか、市の見解をお示しください。



高齢者、障がい者の
ごみ出し支援について

自由民主党
大矢 保

ごみ処理

A クリーンボックスの管理、修繕については、どのような制度がよいか、まずは実態を確認の上、研究をしていきたいと考えています。



老朽化しているクリーンボックス(一例)

Q 各町会等が管理しているクリーンボックスは老朽化しているものも多く、小規模な町会等ではその修繕費が大きな負担となっています。また、市民部が所管する補助制度は補助金額が少額な上、ほとんどの自治会が対象となっていないため、実情を把握し、ごみ処理を担うべき環境部がこの管理、修繕に係る費用を予算化すべきと考えますが、市の考えをお示しください。



クリーンボックスの
管理及び修繕について

市民の声あおもり
奈良岡 隆

福祉

A 市では、福祉館については施設、設備等に経年劣化が見られることから随時補修を行っているほか、平成29年度に創設した地域活動環境改善事業により地元要望も聞きながら利用環境の改善を進めていますが、長期的な視点を持ち、他の公共施設との複合化や民間活力の活用等も念頭に置きながら検討を進めていきたいと考えています。



老朽化している福祉館
(写真は幸畑福祉館)

Q 福祉館のような古い施設は修繕を要する箇所が多く、次々と修繕が必要な状況であるため、建てかえを行うのが最良の方法と考えますが、市の見解をお示しください。



福祉館の建てかえについて

自民・志政会
里村 誠悦

福祉



児童虐待防止について

公明党 山本 武朝

Q 児童相談所に寄せられる児童虐待に関する相談件数は年々増加傾向にあります。市に寄せられた相談件数と、児童虐待の防止に向けた市の取り組みをお示しくください。

A 市には平成29年度に児童虐待に関して11件の相談があり、相談を受けた際には必要な情報の把握に努め、内容に応じた速やかな対応を行っています。また、児童虐待の早期発見等のため、児童相談所を初め関係機関で組織する青森市要保護児童対策地域協議会を設置し、円滑な連携と情報共有を図るなどの取り組みを行っています。

福祉



幼児教育・保育の無償化について

日本共産党 赤平 勇人

Q 政府は、2019年10月から幼児教育・保育の無償化を決めましたが、食料料費を無償化から外す、ゼロ歳から2歳までの子どもは対象にならないなど、制度上のさまざまな問題が指摘されています。この幼児教育・保育の無償化について、市の見解をお示しくください。

A 市では、幼児教育・保育の無償化によって、子育て家庭の経済的な負担が大きく軽減されることとなり、子ども・子育て支援がさらに充実されることから、出生率の改善といった少子化対策の一助となるものと受けとめています。

福祉



幼児教育・保育の無償化について

自由民主党 小豆畑 緑

Q 本年10月実施予定の国の幼児教育・保育の無償化に当たっては、本市においても着実な実施に向けて万全の態勢で臨むべきと考えますが、市の準備状況と今後の市民への周知時期等をお示しくください。

A 無償化に当たった際の準備は、電算システムの改修や関係規則の改正等多岐にわたるため、市では現在、円滑な制度導入に向け、情報収集に努めながら準備を行っており、具体的な手続等が決まる本年8月中旬ころには、「広報あおもり」等を通じて市民の皆様へ周知を図りたいと考えています。

福祉



放課後児童支援員について

日本共産党 村川 みどり

Q 放課後児童支援員の資格、配置数については、国において2015年に基準を定めたばかりですが、国はこの基準を見直す方針を打ち出しました。このことに対する市の考えをお示しください。

A 国は平成30年11月、複数の自治体からの放課後児童支援員の確保が困難との意見を受け、基準の見直しを図るところです。市では現状、放課後児童会の開設に支障はありませんが、基準が改正された際は、子どもの安全性の確保や質の担保の観点から、適切に対応してまいりたいと考えています。

福祉



厚生労働省の統計不正問題について

市民クラブ 奈良 祥孝

Q 厚生労働省の統計不正問題では、毎月勤労統計の平均給与額により算定される雇用保険失業給付の過少給付が明らかとなりました。政府は対象者にさかのぼって支払う方針ですが、生活保護受給者がこの追加給付を受けた際の取り扱いについてお示しください。

A 生活保護法では、生活保護受給者に何らかの収入があった場合は原則収入認定することとなりますが、国から本事業に係る取り扱いがまだ示されていないため、収入認定を行うかについては国の動向を注視し、適切に対処してまいります。

健康づくり



青森版ネウボラの実施について

公明党 軽米 智雅子

Q このたび本市に、青森版ネウボラの拠点となる（仮称）青森市母子健康包括支援センターが設置されることとなりましたが、同センターの概要についてお示しください。

A 市では、2020年4月からの業務開始を目指し、同センターを元氣プラザ内に設置することとしました。これにより、妊娠期から子育て期までの一連の過程をワンストップで総合的に支援することが可能となるほか、託児機能を持たせたプレイルームの新設等も予定しており、今後、開設に向け、万全の準備を進めてまいります。



同センターが設置される元氣プラザ
(佃2丁目19-13)

病院



市民病院等の

診断書料について

日本共産党 万徳 まんとく なお子 なおこ

Q 市では、2019年10月1日から

市民病院等の各種診断書料を引き上げることにしています。障害者手帳、難病助成などの公的な支援に必要な診断書等については2倍の値上げとなり、利用者への負担が大きく、理解が得られないものと思います。これら診断書に係る交付件数をお示しください。

A 平成29年度における年金等受給資格関係診断書として文書料を徴収

しているものの交付件数は341件であり、また、現在市民病院では文書料を徴収していない難病助成の関係は327件となっています。

病院



健康まちづくり連携協定の概要について

日本共産党 天内 あまのい 慎也 しんや

Q 市が浪岡地区をモデル地区とし、

株式会社フィリップス・ジャパンと締結したヘルステックを核とした健康まちづくり連携協定について、その内容をお示しください。

A 本協定は、市民の健康寿命延伸に

寄与することを目的に、予防、診断、治療への最新のIT技術の活用、収集した健康データの蓄積・分析、あおりヘルステックセンターの浪岡地区への設置を盛り込んでおり、これにより、浪岡地区の地域包括ケアシステムの一層の深化を図り、同住民の健康寿命の延伸につなげることをしています。



本年2月6日に連携協定締結式が行われました。

病院



健康まちづくり連携協定の推進体制等について

公明党 赤木 あかぎ 長義 みちよし

Q 市と株式会社フィリップス・ジャ

パンが締結したヘルステックを核とした健康まちづくり連携協定の推進体制及びスケジュールについてお示しください。

A 市及び同社は、本協定に基づき青

森ヘルステックコンソーシアム（共同事業体）を設置したほか、連携事項の企画等に向けたワーキンググループを設置しており、2019年度に事業プランの作成と予算化を目指し、2020年度に事業の段階的实施と青森ヘルステックセンター設立に向けた準備作業等を進める予定としています。

議員とカダる会を開催します

日時：令和元年5月20日(月)
18:30~20:30

※ 平日、夜間の開催となります。

場所：①東部市民センター 2階大会議室

②西部市民センター 2階学習室2

※ 2会場で同時開催しますので、当日、御都合のよい会場へ直接お越しください。

お問い合わせ：議会事務局議事調査課
電話 017-734-5743

内容：①議会報告会

テーマ：平成31年第1回定例会
の主な出来事について

②意見交換会（ワールドカフェ方式）

テーマ：アリーナについて

③自由意見交換



山崎翔一議員に対する 辞職勧告決議を可決しました

定例会閉会日において、山崎翔一議員が同室議員に無断で録音行為を行ったとして、昨年の第1回臨時会に続き同議員に対する辞職勧告決議が提出されました。議場では、「昨年11月に辞職勧告決議が可決されているにもかかわらずこうした事態を起し、もはや議員としての資質を失っている」、「市民からの市議会に対する信用を失墜させ、品位と名誉を傷つけた」との提案理由説明、討論があり、同決議は賛成多数（賛成30、反対1（退席1））で可決しました。

令和元年第2回定例会のお知らせ

平成31年第1回定例会には88人の傍聴者にお越しいただきました。次回は次の期日にて開催予定ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

- ・6月7日 開会
- ・6月13日・14日、18日・19日 一般質問
- ・6月21日 総括質疑
- ・7月4日 閉会

※ 会期については変更の可能性がありますので御了承ください。

※ 本会議はいずれも午前10時からです。

傍聴者の声から

平成31年第1回定例会を傍聴された方から寄せられた御意見等を御紹介します。

- 私語を発している議員がいた。
- 休憩時間を議長は知らせるべき。
- 議員の標札が立っていて不在の者有り。よって、議会の議員数が合わない。

■お答えします■

休憩時間については、本会議の休憩中に館内放送を行っているところです。また、議員の標札（氏名標）が立っていて不在の者は、議事進行中で議長席にいる議長のこととされますので、議場内にいる議員数は一致しています。

本会議傍聴の際、 手話通訳者を派遣します

本市議会ではこのたび、本会議を傍聴される方で手話通訳の手配を希望される方に対し、議会事務局において手話通訳者を派遣することとしました。

希望される方は、傍聴予定日の5日前までに所定の申請書により議会事務局にお申し込みください。御不明な点につきましては、以下までお問い合わせください。

議会事務局議事調査課
電話 017-734-5743



編集後記

委員長 神山 昌則

市民の皆様、「議会で何を議論しているのか」、「議員は何をしているのか」、全てをお伝えできるよう、毎号、創意工夫を凝らすとともに、わかりやすく、皆様に待たれる広報を目指し、委員一同「伝える」努力を重ねてまいります。今号は「令和」最初の発行となりますが、これからも進化する「ぎかいの森」を御期待ください。